

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成28年 8月 4日)

事業コード	H28-建-新-07	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地すべり対策事業	部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	地すべり対策工	班 名	砂防・防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	小淵地区	担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	北秋田市阿仁小淵	担当者名	主幹(兼)班長 阿部 透
プランとの関連	政策コード	01	政 策 名 県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名 健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名 地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H29～H38（10年）		総事業費	25.0 億円		国庫補助率	1／2																																																																																											
事業規模	○ 集水井工4基 ○ 集水ボーリングΣL=7,510m ○ 排水ボーリングΣL=310m ○ アンカー工100本×7段																																																																																																	
事業の立案に至る背景	○ 当地区は北秋田市小淵地内に位置し、平成27年4月の融雪により斜面変状が認められたことから当年5月より変動監視を行っている。平成28年3月の融雪期には、大規模な亀裂が発生するなど、地すべり活動が活発化しており、雨期の豪雨等により地すべり災害が発生した場合、人家や河川等の公共構造物に甚大な被害をもたらす可能性がある。 当地区は保全対象として人家51戸、橋梁2基、秋田内陸縦貫鉄道秋田内陸線530m、小淵駅等を抱える地すべり地帯であることから、災害から人命・財産を守るため、当地区の地すべり対策事業を新規事業箇所として要望するものである。																																																																																																	
事業目的	【主たる目的】 ○ 地すべり活動を防止施設で抑制することにより、直下にある河川、人家や公共施設を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○ 人家51戸 ○ 一級河川阿仁川 ○ 集会所等6箇所 ○ 小屋42軒 ○ 橋梁2基 ○ 市道1,090m ○ 秋田内陸縦貫鉄道秋田内陸線530m																																																																																																	
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table><tr><td colspan="2"></td><td>全</td><td>体</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td><td>H31年度</td><td colspan="2">H32年度以降</td></tr><tr><td>事業費</td><td></td><td>2,500,000</td><td></td><td>200,000</td><td>200,000</td><td>200,000</td><td colspan="2">1,900,000</td></tr><tr><td>経費工事費</td><td></td><td>2,316,000</td><td></td><td>167,000</td><td>190,000</td><td>150,000</td><td colspan="2">1,809,000</td></tr><tr><td>内訳用補費</td><td></td><td>14,000</td><td></td><td>3,000</td><td></td><td></td><td colspan="2">11,000</td></tr><tr><td>内訳その他</td><td></td><td>170,000</td><td></td><td>30,000</td><td>10,000</td><td>50,000</td><td colspan="2">80,000</td></tr><tr><td>財源国庫補助</td><td></td><td>1,250,000</td><td></td><td>100,000</td><td>100,000</td><td>100,000</td><td colspan="2">950,000</td></tr><tr><td>内訳県債</td><td></td><td>1,125,000</td><td></td><td>90,000</td><td>90,000</td><td>90,000</td><td colspan="2">855,000</td></tr><tr><td>内訳その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>一般財源</td><td></td><td>125,000</td><td></td><td>10,000</td><td>10,000</td><td>10,000</td><td colspan="2">95,000</td></tr><tr><td>事業内容</td><td></td><td></td><td></td><td>地形測量等 集水井工 用地補償</td><td>集水井工 調査観測</td><td>集水井工 調査観測 詳細設計</td><td colspan="2">アンカー工 用地補償 調査観測</td></tr></table>										全	体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降		事業費		2,500,000		200,000	200,000	200,000	1,900,000		経費工事費		2,316,000		167,000	190,000	150,000	1,809,000		内訳用補費		14,000		3,000			11,000		内訳その他		170,000		30,000	10,000	50,000	80,000		財源国庫補助		1,250,000		100,000	100,000	100,000	950,000		内訳県債		1,125,000		90,000	90,000	90,000	855,000		内訳その他									一般財源		125,000		10,000	10,000	10,000	95,000		事業内容				地形測量等 集水井工 用地補償	集水井工 調査観測	集水井工 調査観測 詳細設計	アンカー工 用地補償 調査観測	
		全	体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降																																																																																											
事業費		2,500,000		200,000	200,000	200,000	1,900,000																																																																																											
経費工事費		2,316,000		167,000	190,000	150,000	1,809,000																																																																																											
内訳用補費		14,000		3,000			11,000																																																																																											
内訳その他		170,000		30,000	10,000	50,000	80,000																																																																																											
財源国庫補助		1,250,000		100,000	100,000	100,000	950,000																																																																																											
内訳県債		1,125,000		90,000	90,000	90,000	855,000																																																																																											
内訳その他																																																																																																		
一般財源		125,000		10,000	10,000	10,000	95,000																																																																																											
事業内容				地形測量等 集水井工 用地補償	集水井工 調査観測	集水井工 調査観測 詳細設計	アンカー工 用地補償 調査観測																																																																																											
調査経緯	平成28年度 県単砂防事業 調査測量業務、応急対策工事																																																																																																	
上位計画での位置付け	○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																																																	
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																																																	
事業を取り巻く情勢の変化	○ 平成28年4月に熊本県で発生した土石流災害など、近年は全国的に土砂災害が頻発しており、ハード・ソフト一体となった対策が急務となっている。																																																																																																	
事業効果把握の手法	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="7">地すべり危険箇所に対する概成率（％）</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="7">対策済み箇所数／地すべり危険箇所数（％）</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td colspan="2">○ 成果指標</td><td colspan="2">● 業績指標</td><td colspan="2">低減指標の有無</td><td colspan="2">○ 有 ● 無</td></tr><tr><td>目標値 a</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">25.2 %</td><td colspan="2">データ等の出典</td><td colspan="2">河川砂防課調べ</td></tr><tr><td>実績値 b</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">24.8 %</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>達成率 b／a</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">98.4 %</td><td colspan="2">把握の時期</td><td colspan="2">平成28年 3月</td></tr></table>								指標名	地すべり危険箇所に対する概成率（％）							指標式	対策済み箇所数／地すべり危険箇所数（％）							指標の種類	○ 成果指標		● 業績指標		低減指標の有無		○ 有 ● 無		目標値 a			25.2 %		データ等の出典		河川砂防課調べ		実績値 b			24.8 %						達成率 b／a			98.4 %		把握の時期		平成28年 3月																																							
指標名	地すべり危険箇所に対する概成率（％）																																																																																																	
指標式	対策済み箇所数／地すべり危険箇所数（％）																																																																																																	
指標の種類	○ 成果指標		● 業績指標		低減指標の有無		○ 有 ● 無																																																																																											
目標値 a			25.2 %		データ等の出典		河川砂防課調べ																																																																																											
実績値 b			24.8 %																																																																																															
達成率 b／a			98.4 %		把握の時期		平成28年 3月																																																																																											

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○ 地すべり災害が発生した場合、一級河川阿仁川が埋塞し、人家のみならず、秋田内陸線、市道等に被害が及ぶため事業の必要性は高い。 ○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランの施策を直接的に推進する内容の事業である。 ○ 地すべり等防止法第7条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。	30点
緊 急 性	○ 地すべり活動が活発で、豪雨や融雪期の出水により、地すべり災害が発生する危険性が高いため、早急な整備が必要である。	30点
有 効 性	○ 施設を整備することにより、地すべり災害から人命や財産が守られ、地域の安全性が短期間に確保される。 ○ 地すべり対策の整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。	8点
効 率 性	○ 事業の費用便益比は 1.21 であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 20.99 億円 ・総便益の現在価値 25.49 億円 ○ 事業実施においては、新ボーリング材の使用によるコストの削減等、設計の各段階においてコスト縮減の検討を行う。	15点
熟 度	○ 平成27年5月から地すべりブロックの各地点を観測しており、北秋田市や秋田内陸線と連携して警戒体制を整えている。 ○ 北秋田市でも土砂災害等への危機管理意識が高く、事業への必要性を認識している。	8点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけでなく、公共施設を保全するため必要性が高い。	91点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきだと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象に人家51戸、橋梁2基、秋田内陸縦貫鉄道を抱える地すべり地帯である。平成27年4月の融雪により斜面変状が認められ、5月より変動監視を行っている。平成28年3月の融雪期には大規模な亀裂が発生するなど、地すべり活動が活発化している。雨期の豪雨等により地すべりが発生した場合、人家、河川等の公共構造物に甚大な被害をもたらす可能性がある。 そのため、事業の必要性及び緊急性が高いほか、有効性、効率性も高いことから、1次評価における事業実施の総合評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意 見 内 容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象として人家51戸、集会所等6箇所、小屋42軒、橋梁2基、小淵駅、阿仁川、市道、秋田内陸縦貫鉄道があるほか、平成27年4月の融雪により斜面変状が認められ、さらに平成28年3月の融雪期には、大規模な亀裂が発生するなど、地すべり活動が活発化していることから事業実施の必要性は認められる。	

5. 最終評価（新規箇所選定会議）

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード (H28-建-新-07)
箇所名 (北秋田市阿仁小淵)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響（被害想定）					
	人家戸数		20戸以上	10	10	人家51戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
	公共・公益施設		以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通（緊急輸送道路、避難路、鉄道） 防災拠点（警察、消防、役場等） ライフライン施設（電力、ガス、水道等） 利用者多数（学校、駅舎等）	10	10	一級河川阿仁川、秋田内陸線、小淵駅、橋梁2基、市道1,090m、集会所2箇所
			公共・公益施設がある	5		
			なし	0		
	事業の必要性					
	県関与の必要性		法令等で県が実施する事業	5	5	地すべり等防止法第7条により、県が施行する工事
			県が実施すべき広域的な事業	3		
			県が実施した方が望ましい事業	1		
	区域内の整備状況					
	既存の地すべり防止施設		なし	5	5	
			一部のブロックに施設されている	3		
			全ブロックに施設されている	0		
	計			30	30	
緊急性	地すべり変状					
	被害や亀裂、陥没、隆起などの状況		地すべりによる被害が発生している	20	20	市道擁壁にクラックあり 秋田内陸線の線路に変状あり
			全体的に変状が認められる	15		
			部分的に変状が認められる	10		
			変状なし	0		
	災害発生の危険度					
	河川埋塞による湛水・氾濫の有無		あり	5	0	
			なし	0		
	地質構造等		以下の地質構造・地質年代を含む 断層・破砕帯、火山変質帯、温泉余土、流れ盤 中・古生層（結晶片岩、堆積岩） 第三紀層（堆積岩）、緑色岩・蛇紋岩の分布地域	5	5	第三紀層の堆積岩
			その他	3		
	湧水の有無		常時あり	5	5	市道の路肩擁壁から湧水流出あり
			降雨時にあり	3		
			なし	0		
	計			35	30	
有効性	上位計画への貢献					
	ふるさと秋田元気創造プラン		プランに関連する事業である	5	5	「県土の保全と防災力強化」を推進する事業
			プランとは別の個別計画に関連する事業である	3		
			プラン、個別計画に関連しない事業である	0		
	ソフト対策との関連性					
	公表周知している情報の内容		土砂災害防止法に係る基礎調査	5	3	地すべり危険箇所
			土砂災害危険箇所マップ等	3		
			なし	0		
	計			10	8	
効率性	費用対効果					
	B/C		1.0以上	10	10	B/C1.21
			1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減の具体的な計画		あり	5	5	新しい集水管材の採用と、ポーリング工法の工夫による検討等
			なし	0		
	計			15	15	
熟 度	事業着手の熟度					
	地元のニーズ		文書要望あり	5	5	北秋田市より要望あり
			口頭要望あり	3		
			なし	0		
	関係自治体等との合意形成		合意形成が済んでいる	5	3	地元及び地権者の了解済み
			合意形成がなされる見込みである	3		
			合意形成がなされていない	0		
	計			10	8	
合 計				100	91	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		